

# 笑 顔

☆まあいじかん☆

篠山東中学校 3年1組学級通信

第 47 号

2018(平成30)年10月11日発行

発行者 松田 淳二

## 体育祭を振り返って【クラスの成長編】

体育祭を振り返ってからクラスの成長したところを載せます。クラスの成長したところが継続してできているかを確認しながら、みんなの思いや感じたことを受け取ってみよう。

### 【クラス編】

- みんなで心を一つにして無事に終えられた。大きい声を出したり、団結力をしっかり出し切れたことがよかった。
- 団結力が高まった。本番でのスピードや結束力はすごかった。これまでに感じたことのない達成感を味わうことができた。
- 具体的に何が成長したのかを言葉にするのは難しいけれど日に日にクラスは成長していると思った。雰囲気がよくなっている感じがした。
- 自分だけができればいいのではなく、できない人や友だち同士で教え合っている姿が頻繁にみられたのがよかった。
- クラス全員一丸となって体育祭に挑んで絆が深まった。
- クラス全員が団結して行事を成功させる力がついた。今何をしなければならないのかという考えもより深く考えることができるようになった。
- 集中力がアップしたと思う。
- 体育祭が進むにつれてクラスの団結力が高まった。後片付けもしっかり早くできてメリハリができるようになった。
- まわりのことを、考え声を掛けあえたことよけじめをつけて切り替えて集中できるようになったことが成長できた。
- 自分だけじゃなくまわりを見て声を掛け合ったり、アドバイスしたりしながら時間ぎりぎりまで練習をして濃い練習ができた。
- 大縄で引っ掛かったときに「次いける」、「大丈夫」などの声かけを全員に掛けられるようになったことや行動などを意識して時間がうまく使えるようになったことがよかった。
- 次のことを考えて動けるようになった。スムーズに動けるように考えられるようになった。
- 1人の頑張りをクラスみんなで応援できるところが成長した。
- 心が1つになったことと挑むことができたことが成長した。
- 一人ひとりが声をかけ合ってみんなで一つのことに集中できていたこととみんなで挑み続けたこと、



一つひとつの切り替えができたことが成長した。

- 男子リレーのときの一体感がとても心地よかった。
- 一人ひとりが一つの目標に向かって挑むことができた。
- 昨年よりもメリハリがちゃんとついていたと思う。特に応援合戦のときに応援リーダーが大きい声をあげなくても察して話を聞けていたと思う。生徒会演技をもっとよくするために男女で「ここをこうしたらいいんじゃないかな？」などと改善点を考え協力することができた。



- 学年目標や学級目標が達成できたことがよかった。
- クラス愛が強くなった。勝ったときはみんな喜び、負けたときも「大丈夫」と励まし合った雰囲気がとてもよかった。このクラスにいてよかったと強く思った。
- まわりを見ることができるようになった。
- 4人で一人のように団結することができて素晴らしいと思った。
- リレーや綱引き、大縄では心をつなげて体育祭に挑むことができたのでよかった。
- 前よりもまわりを見て過ごせるようになった。例えば、ダンスの練習や会場準備などで困っていたり、少し自分からは声をかけにくい人がいたりするのを見かけると自分から声をかけたりしてとてもいい雰囲気ができていると思う。

- 分からないところを教えてくれたりした。
- 何事にも諦めずに挑戦し続けることができた。クラスの成長は自分の成長だ。
- お互いに信頼関係が高まった。
- プラスの言葉をかけられるようになったことが成長だと思う。体育祭だけでなくこれからの学校生活でも自分からプラスの言葉がかけられるクラスになりたい。



- 弱音を吐いても最後まで諦めずに取り組んでいて誰かが失敗してもプラスの言葉を掛け合って、失敗しても責めないところがよかった。
- 大縄で負けたことを引きずらないで、悔しさをばねに挑み続けることができたことが本当によかった。
- 応援合戦で主体的に合わせることで日が過ぎるにつれて動きが揃った。今まで以上に楽しくできた。
- 体育祭の準備、本番、後片付けを最後まできちんとできたところが成長できた。時間を意識して早くできた。

- 楽しむ心が持てるようになった。
- 練習中や当日に心を一つにできた。大縄でもプラスの言葉を掛け合い心を一つに跳べた。また、競技に出ているなくても同じ気持ちで応援できた。
- クラスの団結力がさらに高まったと思う。
- 団結力はもともとあったと思うがそれにプラス協調性も成長したと思う。

